



414  
A1050



夫國ハ四民ヲ以テ立ツ士農工商也士ハ上太政大臣ヨリ下小吏ニ  
 至ルマテ國事ニ関陞スル者ヲ掌ル者ニメ即チ三民ノ上ニ立チ三民  
 ノメ各其業ヲ精カセシメ不羈自<sup>己</sup>之權ヲ与ヘ束縛ヲ解<sup>キ</sup>妨  
 碍ヲ除<sup>キ</sup>人民ヲ保護シ國家ヲ維持スルモノニシテ農ハ米麥綿  
 絹<sup>類</sup>茶楮<sup>類</sup>植<sup>植</sup>附<sup>附</sup>シ之ヲ繁殖シテ三民ノ衣食住ニ充ルノ  
 本<sup>本</sup>起ス工ハ飲食衣服<sup>具</sup>室家舟車其他諸器ヲ製作シ  
 衣食住ニ用ヨリ海陸運輸ノ便ニ供ス然レモ商ハ工農ノ製器植  
 物<sup>類</sup>ヲ貿易シ或ハ自國之産<sup>品</sup>ヲ海外ニ取り亦自國餘<sup>餘</sup>リテ  
 ル物ヲ海外ニ輸出シ萬國融通ノ金貨ヲ得テ自國ノ用ニ供  
 ス然ル<sup>レ</sup>モ<sup>レ</sup>ハ四民ノ間須臾モ離ル<sup>ル</sup>可カラゴル者ニシテ何レヲ先トシ

商部所ノ改

天正十一年四月  
製候  
寄贈



何レヲ後ニスルノ理アリ然リト云ヒ事ニ緩急アリテ今尚ハ七國  
家ノ急務タル者ナリ何トナレハ倭令工農諸物ヲ製作シ國産  
ヲ繁殖スレモ商之ヲ貿易高ニ輸出以テ通貨ヲ融通スルニ  
非ンハ工何ヲ以テ器械ヲ製造ス農何ヲ以テ諸物ヲ繁殖ス士ト  
云ヒ亦高買供スル所ノ收税ヲ以テ衣食住ヲ辨スルヲ得ルナリ此  
商ノ急務タル所以ニメ工農ノ業ヲ勵マシ國家ノ大利ヲ興シ政  
府ノ用ニ供スル其功最大ナリトス然リ然レテ維新以來工農ノ  
一ハ耶其方法ヲ設ケ政府之ヲ勸導ス開拓使ノ荒蕪不毛  
ノ地ニ於ケル工部ノ製絲鑄鐵ニ於ケル皆之ヲ漸次盛大ニ進出セ  
シム然シテ急務タル商ニ至テハ其方法ノ設ケアラザルハ何ソヤ此等

國家ノ為ニ慨歎スル所以ニメ亦然止スルヲ得ス依テ其方法ヲ揭  
ケ以テ閣下ノ議案ニ供ス

凡高買四民ノ間ニ立テ國産ヲ貿易商ニ販賣ヲ融通スルヤ所謂ク

レジット高買相互ニ信シ聲價或ハ  
約定書ホリ以テ物品ヲ賣買スルニ云ナル者ナクハ巨大ノ貿易ヲナシ國

家ノ大利ヲ營ム能ハス固ヨリ此クレジットヲ得ルハ高買平素ノ言行  
ニ依テ云ツ可キ者ト云ヒ亦法律ノ波クアリテ政府之ヲ保護スルニ非  
ンハ亦其クレジットナルモテ保存永續スルヲ得ス加之ナラス其法無  
キハ人々各奸ヲ圖リ利ヲ貪ム百弊隨テ生ヌ是西洋諸國立法  
ヲ設ク高法其一ニ是ル所以ナリ其法律ヲ編成スルニ至テハ固元老  
大審院ホノ職ニ在テ高買ノ敢テ其權ヲ有スル者ニ非サルニ似テ

更ニ之ヲ成立スル殆ント難シト虽暫ク従来ノ慣習ニ依リ商賈  
相會シテ官ヨリ令ルルルノ布達中其商賈ニ関スル件ハ之ヲ摘擇  
シ或ハ商賈營業ノ景況改メキ法則ホ各意見ヲ具陳シ之  
ヲ官ニ建議シ商律設クノ基ヲ立ツルキハ隨テ商會議局ノ建設  
ニ至ラン然ルトキハ立法ノ一端ヲ助ケ下ハ商賈一層ノ便益ヲ興シ該  
歐亞各國盛大ノ商議局ト并立スルヲ得ヘシ然シテ其方法ニ至テ  
ハ該國設ル所ノ商會議局及ヒ百工評事局并商法裁判所ホ  
法則ヲ混シ煩ヲ去リ簡ヲ取リ我國適中スル所ノ方法ヲ設ケ  
其名義ヲ商會議局ニ擬シ傍ヲ商法裁判所事務ヲ行ヒ其立  
所ノ商律ニ照シ商賈ノ訴訟駁速ニ裁斷シ得ルキハ即チ商賈

ノクレジットトシテ保護スルヨリ商賈上ノ便宜及ヒ訴訟裁判ノ駁  
速ナルニ至ルマテ一モ欠ル所ナシ如此ナルキハ後令行商ノ奸ヲ謀リ居  
賈ノ私利ニ貪ルモ敢テ其愆ヲ恣ニスル能ハザルニ至ラン

第一条

商會議局ノ人負左ノ如シ

オ一議長一名 副議長一名 年齢廿歳以上法律ヲ鞅掌スル者

ニシテ官ヨリ命スル所ノ議官中ヨリ選ブ可シ

オ二議員 十五名 法律ニ悉クシ且商賈ノ情態ニ詳ナル者ヲ擇

ヒ官ヨリ命ス可シ

オ三工商代負 十五名 府廳撰舉會ヲ設ケ投票ニシテ之ヲ撰

用ス

此例甚嚴密ナレハ今之ヲ畧ス

第二條

第一局中亦分局ヲ設ク局長一名書記一名會計一名ヲ置キ  
諸務ヲ司ラシム

七右人負ハキ一各中オニ代負十五名ノ中ヨリ擇フ可レ

オニ又別ニ一室ヲ設ケ代言代書五名ヲ置キ以テ商賈ノ間ニ生  
スル訴訟ホリ裁支セシム若商賈服役セサルカ或ハ事實已  
ムヲ待テルノ丁アルハ代言代書ノ者之ヲ裁判所ニ訟テ以  
テ結了ヲ取

七代言代書ノ五名ハオ一條中ノオニ掲載セル議員十五名ノ

中ヨリ交番之ヲ司ラシム

第三條

商會議局職勢左ノ如シ

オ一 政府ノ下問ニ應シ通商ノ業ノ得失ヲ評論黨議シ  
上申ス可シ

オ二 商ノ景況ニ依リ繁榮衰ムルヘキ方法租稅及ヒ通商  
貿易ノ事務其他商法條則中ニ正スヘキ件々ノ議案ヲ呈  
ス可キ

オ三 其所轄ニ設置ノ商會及ヒ組合社中ハ右ノ事件ニ  
付商會議局ト文通應答スルヲ得ヘシ

才四商會議局ハ政府ト直クニ文通應答ス可シ

第四條

政府商會議局ニ下問スヘキ件々左ノ如シ

才一 改定スヘキ商法條例

才二 商會議局ノ權限等并規則

才三 相場會所設立并規則

才四 地方ノ銀行兩替屋并質屋亦規則

才五 通商ノ関シタル地方土木ノ經營并商學校

才六 其他政府此議案施行如何ヲ本局ニ下問スヘキ

右之外商會議局ニ於テ條例ノ可否ヲ評論黨議シ上表

スヘキ概畧左ノ諸件

一 商賈ノ原本

一 帳合法

一 結社并脫社法

一 際取り法

一 賣子海運及陸輸法則

一 賣買法

一 諸證文手形及注文狀ニ條則

一 商船及船藏亦ノ法則

一 舟賃ノ流レ及賣方法則

- 一 向船主將心得并船將法則
- 一 水夫雇入其外法則
- 一 船積荷物送方法則
- 一 飛脚船法則
- 一 荷積條約法則
- 一 危難受合法則
- 一 非常入賞法
- 一 危難法
- 一 身代限法則數種
- 一 貸附法

- 一 身代限競賣法則
- 一 數種金主心得方法則
- 一 金主仲間ニ於テ所分スニテ法則
- 一 身代限ノ節不動産賣方法則
- 一 不良ヲ謀ル高買身代限法則

明治八年五月

河野光太郎

